

医学生・研修医に対する精神医学教育のエッセンスの探求 (卒前医学教育・卒後臨床研修委員会)

6月20日(金) 15:45～17:25 G会場

司 会	(高知大学医学部附属医学教育創造センター) (京都大学医学部附属病院総合臨床教育・研修センター)	藤田 博一 植野 司
講 演 者	(北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室) (滋賀医科大学精神医学講座) (自治医科大学精神医学講座) (京都大学大学院医学研究科・精神医学) (脳科学・精神医学総合研究所)	宮野 史也 尾関 祐二 須田 史朗 村井 俊哉 川寄 弘詔
メインコーディネーター	(長崎県精神医療センター)	松坂 雄亮
サブコーディネーター	(高知大学医学部附属医学教育創造センター) (京都大学医学部附属病院総合臨床教育・研修センター)	藤田 博一 植野 司

卒前卒後を通した医師養成プロセスにおいて、精神科は重要な診療科として位置づけられており、必須診療科として臨床実習や初期研修を提供しなくてはなりません。9割以上の医学生・研修医が精神科以外の専門に進むという状況において、精神科の臨床現場でどのような学びを提供すればよいのか、明確な知見は得られていないのが現状です。施設ごとに多様な診療状況が想定され、それはすなわち教育資源や教育環境としても多様といえます。現場の指導者たちは、自施設の特徴と教育制度とをすり合わせつつ、「果たしてこのような教育でよいのか」とモヤモヤを抱えながら試行錯誤を繰り返しているものと推察します。

本ワークショップは、医学生・研修医を受け入れている現場の医療者を対象に行います。4～6名の小グループで、自施設での教育実践を省察し、力を入れている取り組みや目指したい教育のあり方などについて、グループ内で共有しディスカッションしていただきます。また、教育実践の中で感じる悩みや困難などを共有し、グループメンバーとともに改善策を講じることもできます。各グループで討議した内容を発表していただき、参加者全体で共有します。各グループには本委員会のメンバーがファシリテーターとして参加し、適宜医学教育の制度や理論などを提供しながら、実のあるディスカッションになるようサポートしていきます。教育に携わる方々が所属施設を越えて知り合い、持続的な交流を持てる機会になることを期待します。

本ワークショップを通して、9割以上が精神科以外の専門に進む医学生・研修医に対する望ましい教育について、皆で模索しアイデアを出し合い共有できる機会にしたいと思っています。本ワークショップが全国の精神医学教育の質向上に寄与できることを目指します。

メインコーディネーターが総合的な司会進行を行い、役割者8名全員がファシリテーターとしてワークショップを進行していきます。